東京メトロ、2期連続で最終赤字 定期収入の回復鈍く

#サービス・食品 #企業決算

2022/5/12 18:22

東京メトロは2期連続で最終赤字を計上した

東京地下鉄（東京メトロ）が12日発表した2022年3月期の連結決算は、最終損益が133億円の赤字（前の期は529億円の赤字）だった。04年の民営化以降で初めて最終赤字を計上した前の期に比べて赤字幅は縮小したものの、2期連続の赤字となった。新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークの定着で定期利用の回復が鈍かった。

売上高は前の期比4%増の3069億円、営業損益は121億円の赤字（前の期は402億円の赤字）だった。鉄道の旅客運輸収入が9%増の2450億円と赤字幅の縮小に寄与した。21年10月に緊急事態宣言が解除されたことなどで定期外収入が20%増えた一方、定期収入はテレワーク定着の影響で2%減となった。

同社は株式上場に向けた準備を進めており、政府と東京都は今後、売却時期や売り出し価格を詰める。山村明義社長は同日の記者会見で「設備や業務のスリム化を進めることで、上場に耐えられる経営基盤を築いていきたい」と述べた。